

とくし

祝 卒業
東天城中学校

思い出と絆を胸に

平成28年度 東天城中学校卒業式

平成 29 年第 1 回徳之島町議会定例会の開催にあたり、町政に臨む所信を申し上げるとともに、平成 29 年度徳之島町一般会計予算案及び特別会計予算案、関連議案を提出し、町議会の皆様並びに町民の皆様方のご理解とご協力を仰ぎたいと思います。



徳之島町 施政方針

―平成29年度―

はじめに

私が町長に就任してから、7月で10年目の節目となります。

就任当初から、町民の皆さんが安心して安全に生活を送ることができるまち、住みたい・住んでよかったと思えるまちの実現に向け、

積極的に町内の各地に出向き、町民の皆さんの意見を反映しながら、生活インフラの強化や産業基盤の構築、地域づくりや人材育成に努めてまいりました。平成22年には、徳之島固有の素晴らしい自然ときむぎゆらさ（心美しさ）を次世代に引き継ぐとして「人と環境にやさしいまちづくり宣言」を宣誓し、

町民一人ひとりが主役となり、豊かな自然を守り育て、安全で快適な生活環境の構築に励みました。

そして、平成24年度から平成33年度までの長期的な計画として、人と自然と産業が共生する躍動感あふれるまちづくりを目指し「町民総参加で、みんなの知恵と力で、

未来へ紡ぐ健やかまちづくり」を基本理念とした第5次徳之島町総合計画を策定し、その達成に向けて力を注いでまいりました。平成29年度は、第5次徳之島町総合計画の中で、6年目の折り返しとなり、計画の遂行に向け取り組んでまいります。

平成29年度の一般会計予算案の総額は、歳入及び歳出それぞれ70億9319万円となっており、前年度と比較しますと8・5%増となっております。歳入歳出の主な事柄としては、ふるさと納税の増加、全天候型屋内運動場の建設、白久（安住寺）団地新築工事、町営農業研修ハウス、畜産振興で受精卵施設の新設等になります。

それでは、第5次徳之島町総合計画に掲げる「人と自然が輝き みんなで紡ぐ きらめきのまち」の実現と地域の更なる発展に向け、総合計画内の6つの基本計画に沿って平成28年度事業実績及び平成29年度事業施策を申し上げます。

平成28年度事業実績 及び平成29年度事業施策

人と資源を融合させ 活気あふれる まちづくり

農業の振興

島の主幹産業である農業の振興にあたり、農業形成の安定と高度化を目指して様々な施策を展開し農家の所得向上に努めてまいります。

まず、本町の基幹作物であるサトウキビについては、基金の活用や支援事業を通して生産基盤の構築に努めています。さとうきび増産支援事業及びさとうきび増産基金事業では、生産農家へ肥料と土壌



大量のサトウキビが搬入される製糖工場

改良資材、誘殺灯への助成事業を実施。さとうきびリース支援事業では、2生産組合がトラクター及びアタッチメントなどの作業管理機械等を導入し、作業労働時間の軽減を図り、経営規模拡大や生産量の増加を目指し、継続した支援を実施致します。また、昨年策定された「平成28～37年産さとうきび増産計画」に基づき、本町においては平成37

年産目標生産量70,692tを目標に取り組んでまいります。

新規就農者の支援については、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営開始型の青年就農給付金補助事業を引き続き実施致します。

農地の有効利用の促進及び確保にあたっては、人・農地プランによる地域の中心となる経営体の掘り起こしや農地集積に必要な話し合い活動を行いました。また、人・農地プランで集約した情報を基に、農地所有者と担い手との貸借等を調整する農地中間管理事業を展開し、相続や離農による遊休農地を減らし、担い手の経営向上や地域の活性化を図ります。

園芸については、農業創出緊急支援事業を活用し、果樹農家を対象に乗用モアやウツドチッパーを導入し、除草作業の省力化と堆肥を原料とす



ドラゴンフルーツのトンネルハウス栽培

るほ場環境づくりの整備を実施しました。また、ドラゴンフルーツのトンネルハウス実証栽培に取り組み、今後新たな栽培方法となるよう収量や収益性の調査を行います。更に、出荷増加が見込まれる品目の市場評価及びニーズの把握と消費動向の調査を実施し、生産拡大や新規品目の選定の検討に努めました。平成29年度の農業創出緊急支援事業では、北部地区に町営農業研修ハウスを建設し、高収益な農業経営の形を形成するとともに、更なる生産拡大や新規品目の選定を実施致します。



グラジオラスの収穫を行う農家

収益性の高い園芸品目を中心とした産地の振興を図るため、輸送野菜ではバレイシヨ、花きではグラジオラス、果樹ではタンカンなどを推進し、平成29年度は災害に強い施設等の整備、マンゴーハウスをはじめとした共同利用施設や機械整備など、付加価値の高い農業生産を推進してまいります。

カンキツグリーニング病の対策としては、被害軽減と未発生地域へのまん延を防止し、年3回の定期調査や感染

樹伐採等の作業により平成34年の根絶に努めます。

新しい地域資源の発掘にあたっては、アマミシマアザミの商品化に向け、株式会社へ

ルシーアイランズと連携し、臨床試験を行う体制づくりを行いました。今後は、人体においての有効性及び安全性を解明するため、臨床試験の実施や機能的作物の一次加工施設の整備を行います。

島内にて生産・収穫された作物について、輸送コストの軽減を図るため、鹿児島県本土への輸送費の一部助成を実施する農産物コスト支援事業を実施し、流通時の条件不利性の解消を図っており、今後も継続した支援を行います。

畜産業においては、TMRセンター施設を中心に自給飼料生産体制の構築に取り組み、低コストのTMRを製造する事が可能となりました。また、畜産農家に対し優良血統受精卵を移植する受精卵移

植事業、優良雌牛の維持・増頭を行った畜産農家へ助成を行う優良雌牛自家導入事業を引き続き実施し、畜産農家の所得向上を図ります。

畜産基盤整備にあたっては、畜産基盤総合整備事業を活用し、飼料畑造成・牛舎・堆肥舎等を一体化で整備することで規模拡大を図り大規模農家を支援します。

土層改良や畑かん施設整備を行う農業の基盤整備事業では、8地区において県営畑地帯総合整備事業に伴う施設整備工事を進め、平成29年度には第一尾母地区の事業申請を



散水が開始された畑かん整備事業

行います。

農業水利施設の保全事業としては、ストックマネジメント事業を第一神嶺地区で行いました。今後も、施設や周辺機器を更新し、安定した農業用水の供給を図ります。

農地水環境保全対策として、多面的機能交付金事業を町内10組織で実施するとともに4組織について協定面積の拡大を行いました。農業農村地域のもつ多面的機能が維持されるとともに、農地や農業施設の保全向上、更に集落を支える体制の強化にもつながていきたいと思います。

食育・地産地消推進については、食と農林漁業の祭典を開催し、徳之島の伝統食の展示や生研グループと食生活改善グループ等による食育や地域の伝統食の伝承料理教室を開催。学校においては農業体験の提供を行いました。平成29年度においても、島の食材を活かし地産地消を推進し



地元の食材を使った料理教室（神之嶺小）

てまいります。

域連携事業では、武蔵野大学と連携して学外学修プログラム「徳之島プロジェクト」を実施しました。農業体験や島での体験を踏まえ、学生たちが取り組んだ施策提案を基に今後は、農業体験とともに島の伝統文化の母体である水田の復活に集落と共に取り組みます。

林業の振興

島内にて蔓延している松くい虫被害については、森林の有する土砂流出防止的機能



道路沿いの枯れ松伐採作業

の保全対策として、松くい虫の伐倒駆除事業を実施致しました。枯損木となった松については、里山林総合対策事業等の伐倒により、倒木による人的被害や人家の損壊被害を未然に防ぎ、将来的に保全すべき松については、薬剤の樹幹注入により継続した環境の維持保全を図ります。

鳥獣被害対策事業として、農作物被害の低減を図るべく捕獲頭数に応じた補助金の支給により捕獲意欲を高め、イノシシやカラスの捕獲圧向上に努めます。

水産業の振興

離島漁業の再生に向けて、集落協定に基づく種苗放流、藻場造成、アサリ再生など漁業の再生に関する実践的な取り組みを支援しており、漁業基盤の構築に努めています。平成26年度整備した製氷貯氷施設の本格稼働と合わせ、これまで整備されてきた施設により近年の漁業者の操業変化に対応する条件が整いつつあり、施設活用による漁家の省力化推進を図っていきます。

農産物と同様に、水産物においても輸送コストの軽減を図るため水産物輸送コスト支援事業を実施し、流通時の条件不利性の解消に努めています。水産物については、実証事業により沖縄への輸送コスト支援も実施しており、引き続き支援を実施し、生産者の所得向上に努めます。

商業の振興

商工会や商店街の活性化に向けては、商工業の中心的存在となる商工会の育成やプレミアム付き商品券の発行により、島内消費の拡大や消費者の購買意欲の向上を図り、加えて島らしさを感じることが出来る町並みや雰囲気づくり等、世界自然遺産登録後の観光客増加を見据えた商店街について検討し、地元商店街や町全体の活性化につなげていきます。



地元買い物客が行き交う商店街

観光の振興

世界自然遺産登録を契機に需要の増加が見込まれる観光の振興については、観光情報の発信やエコツアーガイドの育成に取り組んでいます。ガイド育成では、エコツアーガイドとして7名が登録されており、今後もエコツーリズムの推進活動及びエコツアーガイドの育成に取り組みます。

徳之島を訪れた観光客に一日でも長い徳之島への滞在を促進し、経済的な波及効果を高める滞在日数型観光コンテンツの提供では、体験型プログラムを行っているあまみシマ博覧会を引き続き開催し、観光客の地域文化や自然への理解を高めます。

また、島内観光客数の把握のため、町内宿泊施設における宿泊客数の調査を継続して実施し、観光客やビジネス客のニーズ把握に努めます。

観光地の整備にあたっては、7箇所のトイレ標識の整

備を行い、英語や中国語を常用言語としている外国人観光客にも分かりやすい標識を設置いたしました。平成29年度も7箇所の標識の設置を行い、観光客の満足度向上を図ります。

特に、平成29年5月には、徳之島町にて8年ぶりに開催される全国闘牛サミットが開催されることから、全国への観光PRを行い認知度の向上に努めます。

北部地区の振興にあたっては、変化に富んだ景観や、紺碧に輝く海などの美しい景観が残っていることから観光や移住拠点の核として捉え、北部地区の創生に臨みます。平成28年度は、16名の委員で構成する北部創生推進委員会を開催した他、北部住民アンケート調査や集落づくりワークショップを実施しました。平成29年度には、アンケート調査結果を基に、北部の持つ魅力を最大限に生かせるよう



山集落で行われた集落づくりワークショップ

な集落づくりの在り方を検討するとともに、全体像を明確化し北部地区の地域活性化を目指します。

新たな産業創出と雇用の確保

徳之島町総合食品加工センター「美農里館」では、レトルトカレー、ジャガイモを使ったみのり館ポテト、島内産の果樹を使った「徳之島ゼリー」などの地元農産物を活用した高付加価値特産品開発・製造を行ってきました。今後は、郷土料理の開発を進

め、島内の農産物を積極的に活用することで、農家収入の向上と雇用促進を図ります。

製造された商品の販売促進にあたっては、大手食品メーカーや大手百貨店等との提携に加え、新規企業との開拓を図り積極的に商談を行っていきます。また、ネット販売を積極的に活用し、購買者の購入意欲を掻き立て、販売促進へつなげます。併せて、関東・関西地区で開催されている物産展での出店に加え、九州・山陰・中部地区での物産展に参加し、新規需要の開拓を図ります。

地方創生推進事業では、民間事業者からの提案事業を支援する「むーるで島おこしプロジェクト」を実施しました。これにより、行政と民間が共創して地域創生を推進していくことが可能となりました。新たな産業の創出の場として、旧井之川へき地保育所を活用したコワーキングスペー

スを整備しました。島外企業と島内企業・事業者等が共創して新しい仕事をつくるビジネスマッチング支援を図ります。また、ICTを活用した都市部の仕事を受注する人材の育成を推進します。

地域おこし協力隊事業では、ICTに造詣の深い隊員を採用いたしました。コワーキングスペースの整備やICTを活用した島のプロモーションなど、隊員のもつ専門性を発揮した地域創生に取り組み、平成29年度からは、コワーキングスペースを拠点と



プログラミング体験会

した事業を展開し、雇用の創出や集落の活性化を図ります。また、地域おこし協力隊として新たに農業・教育・文化に特化した人材を導入し、その専門性と協力隊チームとしての力を発揮していただき、地域創生を推進してまいります。

移住・定住の促進にあたっては、空き家を賃貸や売買したい所有者から申込みを受け、空き家を探している希望者に対して、徳之島町が空き家情報を提供する空き家バンク制度をスタートさせ、増加する空き家の有効活用に取り組みます。亀津・亀徳地区以外の空き家など民間不動産業者の取り扱いが比較的少ない地区にて、多くの空き家活用が期待できます。このほか、移住情報パンフレットを作成し、都市圏で鹿児島県等が出展する移住フェア等にて活用を図ってまいります。

心の通い合う 健康と福祉の 元気なまちづくり

健康・医療の充実

予防接種の接種助成では、既存の定期予防接種の接種に加えB型肝炎ワクチンを追加。平成28年に「おたふく」「インフルエンザ」の罹患者数が増えたことから、平成29年度は任意予防接種の推奨や助成により、予防接種を受けやすい環境づくりに努めます。

健康増進事業では、がんで亡くなる人を減らす事を目的に、様々なライフステージに合わせた各種がん検診を実施致しました。今後は、従来のがん検診に加え、ピロリ菌に感染していないかを調べる胃がんリスク検査の受診費用の

助成を開始します。

成人保健事業では、自殺で亡くなる方を0にすることを目標に、臨床心理士による個別相談会や対策強化月間キャンペーン等地域住民への啓発活動などを実施致しました。引き続き、自殺死0になることを目標に、地域住民への啓発活動を実施致します。

高齢者福祉の充実

高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進に向け、後期高齢者医療保険事業として「いきいき教室」「グラウンド



高齢者が楽しんで活動するいきいき教室

ゴルフ大会」を開催。高齢者の自主的な健康づくりを支援する保健事業を実施することにより、将来における医療費の伸びの鈍化を目指します。また、グラウンドゴルフ大会は健康まつりと同時開催することで、世代間交流や高齢者の社会参加の促進を図ります。



多世代が楽しんで参加する健康まつり

75歳以上の方の移動を支援する敬老バス乗車委託事業では、デマンドバス乗車運賃全額補助を継続し、高齢者の負担軽減やひきこもりの解消、介護予防、健康維持につなげ、

介護保険料や医療費の抑制を図ります。

認知症の方への介護施設の充実に向けては、在宅で介護を続けたい方を支援し、自宅への訪問、施設への通い・泊まりを本人の状態と必要に応じて、柔軟に提供することが出来る機能を持った小規模多機能型居宅介護施設を新設致します。

障がい者福祉の充実

「障がいのある人もない人も共に生きる島づくり」を基本理念とした「第4期障がい者計画」「第4期障がい者福祉計画」では、「徳之島地区地域自立支援協議会」と連携・協力のうえ、障がい者本人・家族・事業所の意見を幅広く聴取し、事業の検討を行いました。

平成29年度は「第4期障がい者計画」「第4期障がい者福祉計画」の最終年度となるため、計画の達成を目指し、

各協議会との連携・協力によるきめ細かいサービスに取り組む、障がい者を介護する家族等の心身の負担軽減を図ります。

徳之島町植物工場管理業務委託事業では、植物工場において水耕栽培を行い、島内のスーパー、町給食施設、病院福祉施設等に、地産地消推進も含めて販路拡大を推進しており、障がい者の就業の場として、野菜などの生産や出荷作業を行うことで、雇用機会の創出や福祉の向上が図られることから、今後も同施設の生産物販売推進に努めます。

子育て支援・児童福祉の充実

母子保健支援事業では、産科医等確保支援により、島内唯一の産婦人科病院に産科医が固定し、妊婦健診や出産はもちろん、一部の不妊治療も行えるようになりました。また、ハイリスク妊産婦等支援

事業や離島不妊治療支援事業で、島外での治療や出産を余儀なくされた妊産婦に対しての負担の軽減に取り組ましました。

出産を控えた女性の支援として、マタニティクラスの開催により妊娠期から関わり、出産後は新生児訪問を通して不安解消やストレスの軽減を図り、母子の良好な関係の形成、虐待の予防に努めています。また、子育て世代包括支援センターの設置に向け、関係部署間で協議を行います。妊娠期からの支援を行い、安心して出産ができる環境作りを構築いたします。

乳児期・幼児期の支援については、健診と親子教室等を通しての関わりを持ち、乳幼児健診では、子供の成長と発達の確認、保護者への保健指導や情報の提供を行い、子供の成長を支援しました。健診等で把握した発達に特性を持つ子供と母親への早期支援と



乳児期から子どもの成長を支援する予防接種

しては、1歳半と3歳の教室を実施。教室への参加を通して、より専門的な支援が必要なケースについては、専門機関につなげました。発達特性を持つ子供が通う保育園・幼稚園についても、保健師・巡回支援専門員の派遣を通して、お互いの情報交換や子供への対応について助言を行うなどの支援を行っています。また、保育園・幼稚園など関係機関との連携を強化すると共に、対応や発達を支援するための方法についての研修等を計画しています。

親子教室では、遊びを通して親子の愛着形成の支援、母親同士の交流の場を提供し育児支援の一助となっており、早期からの育児支援を目的に0歳児を対象とした親子教室を開催することで、より母親に寄り添った支援を行います。



母子歯科保健事業では、妊婦歯科健診から就学前までの歯科健診の実施及び歯科保健指導、フッ化物塗布を行っています。口腔機能の獲得・保持等により、心身ともに健康で心豊かな生活ができるよう継続した支援を続けます。病児保育事業では両親の就

労時に子どもの突発的な疾病に対応するため、保育所や病院、その他の場所において、保育を行う事業を実施しました。保護者が就労していても、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上に努め、島内に身寄りがいない世帯や共働き世帯の保護者の不安軽減を図ります。



元気いっぱいな保育園児

地域福祉の充実
地域包括支援センター事業では、地域包括ケアの推進に取り組み、医療や介護が必要になっても、本人・家族の選択のもとにできる限り住み慣れた家で最後まで暮らすことができる支援体制の構築を図ります。また、認知初期支援事業を充実させ、医療・介護での支援体制を強化するとともに、地域住民の理解とサポート体制をすすめることで、認知症になっても、安心して暮らし続けられる地域づくりにつなげます。



地域仲間と元気に活動する地域サロン

豊かな自然と 安全安心な生活が 調和する環境社会づくり

自然環境・生態系の保護・保全

自然環境を保護するにあたり、小・中学校の児童・生徒や保護者に対し、自治総合センターの助成金を活用したワレンギヤガイド育成事業を実施しました。希少な生き物を題材とした観察会や調査活動を行いました。また、手々小学校では総合的学習時間を利用した集落の自然や文化を学ぶ授業を設け、環境教育の学習に取り組みしました。希少動物の保護では、アマミノクロウサギが数多く生息する林道山クビリ線に、希少



山クビリ線での減速帯の設置

動物のロードキル防止のための減速帯を設置。また、世界自然遺産登録に向けて喫緊の課題となっている、ネコによる希少動物捕食被害の解決のため、TNR事業を実施し、集落内で放し飼いされているネコやノラネコの避妊去勢手術を行っています。

サンゴ礁保全対策事業では、島のサンゴ礁を保全すべく、天敵であるオニヒトデを駆除し、サンゴの生息状況調査を実施致しました。平成29年度においても、サンゴ礁保全対策事業によるオニヒトデ



パトロールが強化される不法投棄

駆除に努めます。

良好な景観の維持にあたっては、一般公募による景観写真コンテストを開催し、地域の方の景観に対する意識向上を図ります。

また、ゴミのポイ捨てや不法投棄防止に向けては、パトロールの強化や関係機関との連携を深め、景観の保全や土壌・水源の汚染防止に向け取り組みでまいります。平成 29 年は、世界自然遺産登録の可否に関わる国際自然保護連合の現地視察が控えており、関係省庁・地元 NPO 団体・地元住民と協力しながら平成 30 年の登録を目指します。



地域総出での轟木の自主防災訓練

地域防災の充実

地域防災の充実では、安全な地域づくりを推進するため、防災メールの登録促進、防火設備の整備、交通安全及び防犯対策、自主防災組織の強化に取り組みます。地域における防災意識の高揚のため、関係機関と相互に連携しながら総合的な防災体制の確立、自主防災組織の育成強化及び防災意識の普及に取り組みます。



地域や警察で連携した交通安全運動

交通安全の推進

交通安全の推進では、交通実態に即した交通安全対策の推進や街頭指導の強化を行い、地域や学校、警察など関係機関と提携し、交通安全意識を啓発するとともに、災害共済制度への加入促進や通学路や生活道路における歩行者等の安全な通行を確保し、ハード・ソフト両面での対応を進めます。

消防・救急の充実

地域消防力の強化に向け災害発生初期等における情報連絡、避難誘導、救出、救護、

初期消火等が行える地域住民による自主防災組織の育成強化を図るとともに、育成強化のための研修・訓練、情報提供を推進します。

防犯体制の充実

犯罪のない安全・安心で明るく住みよい地域社会づくりのため、各地区に対する防犯灯設置補助、犯罪の抑止力となる防犯カメラの設置や犯罪の防止及び青少年健全育成を推進します。また、消費者被害防止の対策として、鹿児島県消費者行政活性化補助金を活用し、啓発用資料の全戸配布や弁護士相談会の開催により、消費者被害の未然防止を図ります。消費者の安全と安心を確保するため、将来にわたり町民への支援を継続して行い、消費者行政の機能を維持してまいります。



道路拡張工事で広々した亀津中学校前

道路・交通網の整備・充実

道路ネットワークの充実にあたっては、社会資本整備交付金事業を活用して、亀津 19 号線改良舗装工事によって、亀津中学校体育館までの道路

誰もが快適に
暮らし続けられる
人に優しいまちづくり

が拡幅。また、轟木・母間地区の通行利用を円滑化するため舗装工事を実施しました。橋梁整備工事では、第二丹向橋の建替が完了しました。平成29年度の道路及び交通網の整備では、道路整備として亀津19号線を中央通りまで拡幅するため委託調査を実施し、橋梁整備工事として新里橋の補修工事を行い、安全性の確保が図られるよう努めます。

住環境の充実

住環境整備事業にあたっては、社会資本整備総合交付金を活用した公営住宅整備事業で、高齢者などに配慮した設計仕様と安否確認の見守り機能等を有するシルバーハウジング住宅として白久団地木造平屋建て2棟4戸の建設を致しました。平成29年度は、同事業により白久団地木造平屋5棟10戸建替事業を実施します。

ストック改善事業では、尾

母3団地の外壁改修・屋上防水工事を実施し、建物の老朽化を防ぐことにより住宅の長寿命化を図ります。また、現在策定されている長寿命化計画を見直し、公営住宅ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

上下水道の整備

生活の基盤である安定した上水道配給のため、母間、花徳、轟木、山、手々、金見、畦地区の浄水場を整備し、花徳地区の配水管を取替え、亀津地区においては亀津新大瀬



亀津新大瀬橋橋梁添架配水管

橋橋梁添架配水管を取替えました。平成29年度は、旭ヶ丘地区を中心に老朽化した浄水場設備等の更新を図ります。水道施設や配水管等は老朽化による破損を防ぐため、更新を余儀なくされていることから、平成5年4月以来24年ぶりに水道料金を改定致します。

公共下水道事業では、効率的汚水処理整備計画策定と排水設備設置費補助金事業に取り組みました。下水道の接続にあたっては、補助金を有効活用した接続や県営住宅の接続により、接続率も供用開始区域内で約50%を達成しました。平成29年度は、効率的汚水処理整備計画に基づき、下水道整備計画区域の事業認可取得や汚泥の有効利用施設建設計画を進めます。また、排水設備設置補助の継続及び住民への啓発活動により、接続率の向上に努めます。

思いやりと文化を育む 人間性豊かな ひとづくり

学校教育の充実

徳之島町教育再生事業では、町雇用教員を1名、町職員を2名配置し、特定教科の学力向上や活用の支援に努めました。学士村塾では、平日3教室78名、土曜日7教室113名の児童・生徒が参加しました。向学塾では、小学生の部71名が参加し、中学生の部は、鹿児島大学生18名を講師として招聘し、50名が参加しました。平成29年度は、新たに小学校の低学年コースを新設し、きめ細やかな夏休みの計画的学習環境の整備を図っていきます。



夏休みの向学塾で学習する小学生

特別支援教育支援事業では、小・中学校特別支援教育支援員を3名増やし、多様化する障がいを持つ児童・生徒への適切な対応を図りました。

ICTの活用事業では、小学校や花徳小学校、母間小学校をテレビ会議システム等で結び、小規模校の授業改善を図りました。平成29年度は、従来の授業に国語と外国語活動を加え、小規模校での授業改善を図っていきます。その他、学校教育でのICT支援員の配置や学士村塾での

プログラミング学習、ふるさと
思いやり基金を活用した I
CT 教育プログラム研修等を
開催し、ICT 分野の教育の
発展に努めます。

教育環境の整備にあたって
は、空調設備を小学校に 3 カ
所、中学校 2 カ所の設置を行
いました。未整備の学校に
は、段階的に空調の設置を行
い、学習環境の改善に努めま
す。

亀津中学校グラウンド照明
設備工事では、従来よりも照
度の高い照明設備をグラウン
ドに 6 基設置し、部活動の冬
季練習時間の増加や地域住民
のスポーツ活動に貢献しまし
た。

徳之島町総合給食センター
建設に向けては、給食センタ
ー建設推進委員会を立ち上
げ、和泊町給食センターへの
視察研修と 2 回の会合を行い
ました。災害拠点の設備を兼
ねた給食センターの建設を推
進するため、喜界町の防災食

育センターの視察研修を行
い、建設推進委員会との会合
を重ね建設に向け推進いたし
ます。



老朽化の進む町給食センター

小規模校の活性化に向けて
は、手々地区においてふるさ
と思いやり基金を活用した空
き家の改修を実施し、合宿型
のふるさと留学制度を取り入
れ、継続したふるさと留學生
の受け入れ体制の構築に努め
ます。また、新たに平成 29 年
度より山小学校、中学校を
小規模特認校に指定し、区域
外からの児童・生徒の受入を
可能にします。

小・中学校の再編について
は、子どもたちにとって望ま
しい教育環境を提供するとい
う観点から、学校再編検討委
員会に諮問し、統廃合に関す
る研修、学校再編教育委員会
案の審議などを経て、検討委
員会案の答申を受けます。

家庭教育の充実

平成 26 年から取り組んでい
ます家庭教育支援事業では、
家庭教育支援員の配置によ
り、学力向上や生徒指導の充
実及び家庭教育力の向上につ
ながる取り組みを実施しま
す。また、幼児の保護者に対
して学習機会の提供と相談支
援を実施することで、就学前
から家庭教育に対する意識を
高める機会を設けます。併せ
て、地域住民に対しても地域
全体で支援する仕組みをつく
り、学校応援団へ積極的に参
加する気風づくりに役立てる
とともに、学校と地域が密着
した家庭教育支援活動ができ

る関係を構築します。

家庭教育支援事業運営委員
会設置と支援員配置ができた
ことで、支援事業の対象や幅
を広げるなど効果的に展開で
きるようになり、各学校の家
庭教育学級でも変化がみられ
たため、平成 29 年度はさらに
充実した内容で事業を展開し
ます。

青少年健全育成の推進

青少年健全育成の推進で
は、青少年育成町民会議にお
いて青少年健全育成の様々な
取組みの情報を共有し、協力
しやすい体制づくりに努めま
す。また、体験活動の推進と
して、地域の人材や関係団体
と協力して多様な体験活動の
機会を創出します。

ボランティア育成講座で
は、各種催し事での参加を通
して、シニア世代への家庭教
育の現状や大切さを伝えまし
た。

芸術文化活動の振興では、

子ども芸術鑑賞事業として小
学 4 年生以上を対象に劇団四
季の鑑賞を継続実施し、創造
性と心の豊かさを育み、中学
生には、団体等の音楽劇鑑賞
を実施することで、芸術を愛
する心を育て豊かな情操を養
います。



文化芸術による子どもの育成事業「三宅狂言会」

生涯学習・生涯スポ ツ活動の推進

生涯を通じた学習機会の充
実にあたっては、高齢化とと
もに講師やリーダーなど指導
者の人材不足が懸念されてお
り、その対策として「循環型

生涯学習社会の実現」「知の循環型社会の構築」を目指し、関連する社会教育施設の拡充整備を図るとともに、生涯学習センターの機能を充実させて活用し、各種学習機関としての連帯に努めながら、地域住民の高度化・多様化する学習需要に対応していくため指導者等の人材教育を図っていきます。

生涯学習環境整備では、徳之島町文化会館に設置している舞台装置を改修し、演劇等の舞台道具の出し入れを円滑に行います。

スポーツ活動の振興では、プロ野球選手をはじめとする様々な競技の選手が自主キャンプや合宿を行っており、子どもたちに刺激を与えています。

平成29年度は、雨天時の練習効率を向上させるため、全天候型屋内運動場の建設を行い、合宿団体数の増加を図ります。また、平成28年度に学校法人日本体育大学と「体

育・スポーツ振興に関する協定」を締結したことで、日本体育大学所属のトップアスリートなどの講演会やスポーツ教室、合宿受け入れを行っていきます。

郷土文化の継承・活用

文化財保護については、例年行っている史跡等指定文化財の保護管理を継続的に実施し、歴史や文化の活動に役立つよう活用します。伝統文化の保存に関しては、各集落で積極的に取り組んでいるものの、後継者育成や物品の保存維持等に苦慮している現状があります。

指定文化財への助成金による活動支援や青年団活動をはじめ、青少年などの参加を積極的に推進し、埋もれた伝統芸能の掘り起こしと保存継承に努めます。

公民館講座では、年間30講座余りを開設し、400人以上の町民が受講しています。

平成28年度は新規講座として、日本語教室、島口教室を開講しました。平成29年度は、年間40講座の開講を予定しており、新規講座として手話などを開講予定です。公民館講座受講終了後には、生涯学習フェアを開催し、一年間の学習成果を披露し、学習意欲の高揚を図ります。



新しく公民館講座で開講された日本語教室

また、学芸員の配置を行い3町共同での海底遺跡調査を実施し、文化財の保護・保全に努めます。

みんなが主役 協働で展開する 結いのまちづくり

男女共同参画社会の推進

「徳之島町男女共同参画基本計画」について前期最終年度となりました。

計画策定以降の5か年で、国では「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が制定され、女性の職業生活と家庭生活に関して本人の意思が尊重されること等が謳われています。

徳之島町では、まず町が率先して女性職員の活躍を推進するため「特定事業主行動計画」を策定し、女性職員が働きやすい環境を整えることを目標に掲げ取り組んでいます。

このほか、本年2月には、

鹿児島県男女共同参画推進員に本町から1名が任命され、今後、県や町が実施する男女共同参画施策へ協力をお願い致しました。

平成29年度も引き続き「男女共同参画社会」の実現に向けて取り組んでまいります。

行財政運営の効率化

自主財源の確保においては、個人町民税、固定資産税、軽自動車税の賦課及び法人税、たばこ税の申告納税の促進に努め、各種町税の公平公正な賦課に努めます。徴収業務では、平成29年度より24時間納付が可能なコンビニ納付を開始致します。平日以外の納付方法が増え、納税者にとつて納税しやすい環境を整備致します。また、納期内納付の呼びかけや法令に基づく滞納処分を執行し、自主財源の確保に努めます。

ふるさと思いやり基金推進事業では、ふるさとを想う徳

之島町出身者や、徳之島を想ってくださる全国の方々から寄附をいただき、平成28年度は大変多くの方々からご寄附を頂きました。本町の特産品が全国各地に返礼品として発送されることにより、新たな雇用創出や地域経済の活性化など、その波及効果が町内に生まれつつあります。また、全国の方々から頂いたご寄附は、島の未来を担う子どもたちへの教育環境の整備や、世界自然遺産登録を見据えた野生動物の保護等に活用致しました。平成29年度も、ふるさと納税制度を最大限に活用し、徳之島の活性化につなげていきたいと考えております。また、ふるさと思いやり基金の活用については、本町が定めた7つの事業項目により、本町の未来を見据えた事業を引き続き行って参ります。

むすびに

今後の展望としては、「環境文化型」「生態系管理型」を2本柱に掲げた奄美群島国立公園の指定、平成30年の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」世界自然遺産登録をはじめ、大河ドラマ「西郷どん」の放送など、徳之島を発信していくための環境が整います。島全体の各産業において、世界自然遺産の島としてのブランドの形成を図り、地域経済の発展に尽力してまいります。「できないと言いう言いはしない。できる方法を考える」を肝に銘じ取り組みたいと思います。また、平成30年には世界自然遺産登録、平成32年には鹿児島県国体や東京オリンピック・パラリンピック等、日本全体として国内のみならず国外からの旅行者数増加が見込まれており、今まさに観光や交流分野

が新たな飛躍の転換期を迎えます。

産業関係者のみならず、島に住む住民自身が時代の転換点を迎えていることの共有を図り、若者や子どもたちが誇りの持てる島として地域を築き上げていきます。

その流れを確かなものにするため、平成29年度の町政に全力で取り組み、学び、暮らし、働き、集う全ての人が自助・共助・公助・近助の中で、個性と創造力を発揮するまちづくりの実現に向け、議会の皆様、町民の皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。平成29年度の施政方針と致します。



まぶるくん

施政方針



田之畑 果奈子さん
(井之川中学校 2 年生)

見事な「施政方針」の題字を書いた田之畑果奈子さん。書道について「良いときも、悪い時も、自分の気持ちが出るところが大好き。自分の人生の一部分で、なくてはならない存在です」と話してくれました。

6年生の時に引越してきた徳之島は、自然がいっぱいで人が優しい所。沢山の経験ができ、大好きになったそうです。3月で転出しますが、将来島へ戻ってきて病院を開き、医療のために役立ちたいという大きな夢を持っています。

「いつか徳之島を支える一員になりたい」と頼もしく話す果奈子さん。大きな夢に向かって頑張ってください。

教育

亀津中学校校区の皆さんへ

「かめサンデー」へのご協力をお願いします！

亀津中学校、亀津小学校、亀徳小学校では、平成29年度から、3校合同の家庭学習強調期間「かめサンデー」に取り組みます。

「かめサンデー」とは？

①亀の名の付く3校の児童・生徒が、合同で3日間家庭学習にがんばる取組です。

②亀津中学校の定期テストに合わせ、6月、10月、11月、2月に実施します。

第1回 6月27日(火)28日(水)29日(木)

第2回 10月10日(火)11日(水)12日(木)

第3回 11月26日(日)27日(月)28日(火)

第4回 2月11日(日)12日(月)13日(火)

③児童生徒の家庭学習の習慣化と内容充実による学力向上を目的としています。

【取組の内容は？】

中学校の部活動停止期間の中で3日間実施し、スポーツ少年団にも練習を休止していただき、小・中学生とも、原則として外出せず、各家庭で家庭学習に取り組むこととします。

また、公民館を活用し、校区の方々のご協力をいただいての共同学習なども実施予定です。

【校区の皆様へのお願い】

実施前に集落放送等で広報しますので、期間中に外出していたり、遊んでいたりする児童生徒に対して「かめサンデー」でしょう。帰って勉強しなさい。」と声をかけてください。

また、期間中、公民館での学習活動等への指導や支援をいただける方を募集しております。ご協力いただけると有り難いです。よろしく願います。協力依頼など、詳細については改めて各学校からお知らせいたします。

〈本取組に関するお問合せは、各小・中学校へお願いいたします。〉

年金

奄美大島年金事務所からのお知らせ

年金受給資格10年短縮による年金相談所の開設

左記日程で、年金相談所を開設します。どうぞご利用ください。年金相談内容は、10年短縮による年金請求についてのみとなりますのでご了承ください。

平成29年8月から年金を受給するために必要な資格期間が10年となります。年金機構において、受給資格が確認できた方には、ご自宅宛に老齢年金の請求書《黄色の封筒》を発送します。黄色の請求書は、2月下旬～7月上旬にかけて順次発送を行います。また、黄色の請求書が届かない方でも、任意加入の申し出により期間を加えたり、合算対象期間を含めて年金を受給できる可能性がありますのでご自身の資格をご確認ください。

なおご来場の際は年金手帳や、運転免許証など身分確認できる書類を持参してください。相談は予約制で実施しておりますので、よろしく願います。

【場所】 全日程 徳之島町役場1階会議室

8月		7月		6月		5月		4月	
8月9日(水)	8月8日(火)	7月12日(水)	7月11日(火)	6月7日(水)	6月6日(火)	5月10日(水)	5月9日(火)	4月12日(水)	4月11日(火)
8時30分～12時30分	11時30分～12時	8時30分～12時30分	11時30分～12時	8時30分～12時30分	11時30分～12時	8時30分～12時30分	11時30分～12時	8時30分～12時30分	11時30分～12時
12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分	12時30分～17時30分

問 町住民生活課 年金係

☎82-1111 (内線121)

消防

徳之島地区消防組合より

救急車の適正利用について

徳之島管内の平成28年中（1月～12月）

・救急出場件数・・・1,699件

・1日の出場件数・・・4・7件

・町民およそ14人に1人が利用

※利用者の中には

①軽い病気やけが

②二日酔いで頭が痛い

③入院のための医療機関までの利用

④救急車で行くとすぐに診てもらえるといった、緊急性の低い救急要請も見受けられます、救急車を呼ぶ前に、本当に救急車で病院に行かなければいけないのか、もう一度考えてみてください。



（救急車の呼び方）

①救急であることを伝える（119番通報したら、まず「救急です」と伝えてください）

②救急車の来てほしい住所を伝える（住所が分からない時は、近くの大きな建物など）

③具合の悪い方の症状を伝える（分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝える）

④具合の悪い方の年齢を伝える（分からない時は「60代」のようにおおよそでかまいません）

⑤あなたのお名前と連絡先を伝える（連絡可能な電話番号、場所が不明な時など問い合わせ）

★ひとりひとりの大切な命を救うために、救急車の適正な利用をお願いします★

問

徳之島地区消防組合消防本部

☎83-3160

農業

対策をしましょう

パパイヤの病気（ウイルス）について

パパイヤにウイルス性の病気が発生しております。この病気は、アブラムシによって伝染し、（病気にかかった樹を切ったり病気の果実を収穫した鎌やハサミ・のこぎりからも移る可能性があります。）残念ながら現在治療薬剤はありません。

対策は、

1. アブラムシによりその病気がほ場全体に広がる恐れがありますので、病気にかかった樹は早めに抜き取り焼却または埋設する。
 2. 自家苗は避ける。（病気にかかった果実の恐れがある）信頼のあるところから購入し早い段階での植え替えを行う。
 3. 草刈り、シルバートープなど反射資材を活用しては場にアブラムシを寄せ付けない工夫を行う。
 4. アブラムシが簡単に飛来しないように防風ネットや防風樹、施設などでの栽培を行う。
 5. 収穫や伐採に使った道具は、樹ごとに消毒を行う。（塩素ハイターや消毒用アルコール、スキムミルクなど）
- 農家一人一人が気をつけ、まん延させないように努力し産地を守りましょう。

問

町農林水産課

☎82-1111（内線242）

保険

健康増進課からのお知らせ

被保険者証の期限の変更

○平成29年度交付の被保険者証の期限について

平成30年度の新国保制度施行により、運営主体が徳之島町から鹿児島県へと変更になります。それに伴い、被保険者証の期限を左記のように変更いたします。

現状

○4月1日～翌年3月31日（1年間）

平成29年度

○平成29年4月1日～平成30年7月31日

（1年4カ月間）

平成30年度以降

○8月1日から翌年7月31日（1年間）

※保険者証の発行、療養費の申請、限度額認定証の発行等の手続きについては今までどおり役場健康増進課にて行えます。

問

町健康増進課

☎82-1111（内線135）

納税

収納対策課より

町税の納付は口座振替を

く町税の納付は便利な口座振替を
ご利用ください

徳之島町では各種税金・使用料の口座振替をお勧めしております。これは指定した金融機関があなたに代わって預貯金口座から振替えて、町に納付する制度です。一般的に手続きは一度で、翌年度以降は自動的に更新されますので、納期のたびに金融機関などへ行く手間が省けて大変便利です。

■必要な物

・口座振替依頼書（役場収納対策課または各金融機関にあります。）

・預貯金の通帳

・届出印

■取り扱い金融機関

- ・鹿児島銀行
- ・奄美大島信用金庫
- ・奄美信用組合
- ・九州労働金庫
- ・あまみ農業協同組合
- ・ゆうちょ銀行

※徳之島島外の方で、口座振替を申請される方は口座振替依頼書を郵送いたしますので、収納対策課までご連絡下さい。（但し上記金融機関のみ御利用可能です。）

■振替日

・町税（町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）

納付月の25日（ゆうちょ銀行）

納付月の28日（ゆうちょ銀行以外の金融機関）

・振替日が、土・日・祝日の場合は翌営業日が振替日となります。

・残高不足等による口座振替ができなかった場合、再引落し出来ません。その場合は督促状が発送されますので、引落日前日までに残高の確認をお願いします。

・口座振替の手続きには、納期限のおおむね2カ月前までにお願ひします。（※申込み時期によっては、次回納付分からの振替となる場合があります。）

町税等のコンビニ収納が始まります。

◆全国のコンビニエンスストアで町税等の納付が可能となります。

これまで、町税や使用料の納付ができるのは、町の会計窓口や金融機関等に限られていましたが、本年4月以降に発行する納付書（バーコードが印刷されているもの）については、全国のコンビニエンスストアでも納付することが可能になります。夜間や休日問わず納付できるので、平日の昼間に納付することが難しい方などは、是非ご利用ください。

問 町収納対策課

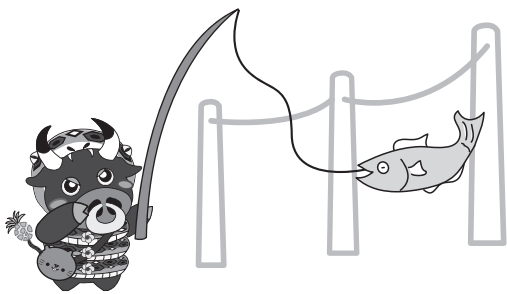
☎ 82-11111（内線172、173）

九州電力から

感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないよう、お願いします。

なお、万一鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力までご連絡いただきますよう、お願いします。



平成30年歌会始のお題

及び詠進歌の詠進要領

●平成30年歌会始のお題は「語」と定められました。

※お題は「語」(ご)ですが、「語感」(ごかん)、「物語」(ものがたり)のような熟語にしても、「語る」のように訓読しても差し支えありません。

●詠進の期間

9月30日までとし、郵送の場合は、消印が9月30日までのものを有効とします。

●詠進歌の詠進要領

詠進歌はお題を読み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限りま

す。
※書式や詠進方法は左記で確認ください。

宮内庁式部職

宮内庁ホームページ

<http://www.kunaicho.go.jp/>

～住民参加による地域おこし～

今年3月7日、徳之島は、「奄美群島国立公園」に指定され、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」を対象区域とする世界自然遺産登録へ向けて大きく前進しました。また、3月4日に、生涯学習センターにて開催されました「世界自然遺産シンポジウム」での基調講演においては、自然遺産登録後に観光客が大幅に増加するという予測も示されました。そのような中、増加が予測される観光客をいかに地域・集落へ取り込むことができるかが、島おこし・地域おこしの鍵となります。是非、講演会にご来場下さい！！

日時：5月2日（火）

開場 / 13:00 開演 / 14:00

場所：徳之島町文化会館

【問い合わせ先】 町花徳支所
☎84-0048

★講演者プロフィール★

山城 定雄

(Mrやんばる)

【やましろ さだお】

・2013年（H25）

東村役場 定年退職

(34年勤務。企画畑に25年)

- ・沖縄県地域づくりネットワーク

副会長 & 運営委員長 (2013~)

- ・総務省地域力創造アドバイザー（2014～）
など



- 2000人足らずの小さな村で30年余、地域プランナーとして、地域資源を生かした体験型観光の企画実践。
- 都市部の子どもたちの体験学習を受け入れる「セカンドスクール」や宮里藍写真付き切手の発売など仕掛け人。
- 国関係、JICA、沖縄県、琉球大学をはじめ県内大学や県内市町村等の地域おこし講演等「地域が元気になる」「タネ蒔き」に奔走。
- 県内外の力をもつ人たちとの人脈ネットワークを生かした取り組みを実践中。



世界自然遺産へ！



平成30年登録見込みとなっております「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産については、左記に示したスケジュールで進んでいきます。今年の夏・秋には、IUCN(国政自然保護連合)による視察が控えており、徳之島の全体評価、国・県・地元の対応等について問われます。住民の皆様のご理解とご協力のほど、宜しくお願い致します。

奄美大島
徳之島

沖繩島北部

西表島

2 平 8 平
月 成 月 成
27 28 25 27
日 年 日 年

国立公園の指定
パブリコメ開始

国立公園の拡張
パブコメ開始

平成28年
4月15日

やんばる国立公園
指定

西表石垣国立公園
拡張

平成28年
10月6日

国立公園の指定
パブコメ開始

平成28年
11月28日

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 推薦書（暫定版）提出

平成29年
2月1日

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 推薦書（正式版）提出

平成29年
3月7日

奄美群島国立公園
指定

平成29年
夏・秋

— IUCN (国際自然保護連合) による現地視察

平成30年
夏

世界自然遺産登録の可否



地域の子どもたちのために

亀徳小へ清掃用具の寄贈



「亀徳をよくする会」から亀徳小へ掃除用具が寄贈され、亀徳小学校で2月16日、実吉悟会長から校長へ目録が手渡されました。

実吉会長は寄贈について「地域の子どもたちのために使ってほしい」と話し、校長は「本校の子どもたちは、朝早くから清掃活動を活発に行う。用具が充実すると大変ありがたい」とお礼を述べました。

「亀徳をよくする会」は地元有志の会員15名で活動しているボランティア団体。亀徳地区の住環境改善や地元の活性化を目標に活動をしています。

再び目指せ日本一！

上武大学野球部が春合宿



上武大学野球部一行が2月13日、恒例になっている春合宿のため亀徳新港へ到着。町総合運動公園陸上競技場管理棟で2月17日、町地域女性連絡協議会メンバーなどが同野球部へ炊き出しを行いました。

主将の鳥巢誉議さんは「徳之島での合宿はこの炊き出しが楽しみ。今年こそ日本一になって徳之島の皆さんにもいい報告ができるように頑張るので応援をよろしくお願いします」と挨拶しました。午前中の練習を終えた選手たちは、地場産の食材で作られた鶏飯や焼き肉などを笑顔で味わっていました。

認知症にやさしいまちづくり

認知症サポーター養成講座



2月18日に諸田公民館で、「認知症を地域で支える」講演会及びSO S訓練を開催しました。

公益財団法人慈愛会谷山病院痴呆症疾患センター副所長の黒野明日嗣氏が分かりやすく講演しました。講演後に永喜区長が「隠したがる人もいるが、人ごとではない。隠さず、周りに相談してほしい。」と参加者に語りかけました。後半は、参加者が3グループに分かれて地区内を歩き、声かけ訓練を行いました。高齢者を含めて、地域の方々が、お互いに気にかけてあう、声かけができる地域づくりを目指します。

方言の温かみに親しむ

島口島唄の祭典



町生涯学習センターで2月19日、「第31回島口島唄の祭典」が開催されました。園児から高齢者まで自慢の島口や島唄を披露しました。

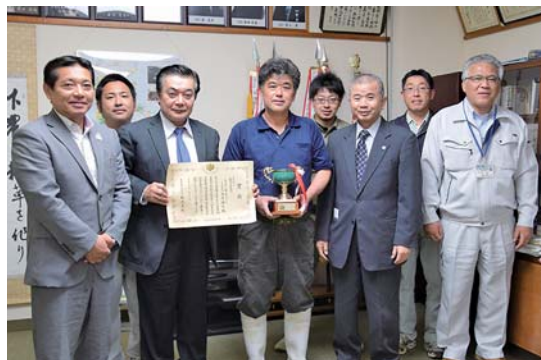
祭典は、島口川柳の表彰式で開幕し、子どもたちの作ったユーモアあふれる川柳が発表されました。母間小学校や亀徳小学校の児童は、地域に伝わる話を寸劇で再現。一人が役割を持って演じた見事な劇に、会場中に賞賛の拍手と歓声が響き、地域の歴史を懐かしむ声が聞かれました。

2月18日は大島地区「方言の日」。祭典当日は、島口や島唄の持つ温かみに親しむ一日となりました。



畜産の可能性に挑む

永吉ファームが農林水産省生産局長賞受賞



第3回全国自給飼料生産コンクールで株式会社永吉ファームが飼料生産部門で農林水産省生産局長賞を受賞しました。2月20日町長室で、代表取締役の永吉輝彦氏が受賞を報告しました。

コンクールでは、経営の先進性や飼料自給率など9項目により審査されました。同ファームでは飼料作物であるトウモロコシ栽培の二期作に取り組み、高栄養飼料の確保・利用体系を確立しつつあること。家畜ふん尿を利用した堆肥を自作地へ還元。また一部堆肥を町内たい肥センターへ供給する地域内資源循環型農業などが高く評価されました。

活力みなぎる地域へ

母間校区振興会が地域づくり表彰



町役場町長室で2月22日、あまみ地域づくり褒賞（鹿児島県大島支庁主管）の授賞式が行われました。

今回「母間校区振興会（会長赤崎富千郎さん）」様が地域活動への功績や、今年度開催された「母間騒動200周年記念式典とシンポジウム」を開催されるなど、その活動が奄美地域将来ビジョン実現に向けて、高く評価され受賞となりました。会長の赤崎富千郎さんは「母間（4集落）が活力みなぎる地域になるように、これからも活動を続けたい」と受賞の感想を述べられました。

身近で体感、プロの技！

日本製紙石巻硬式野球部キャンプ



2月24日、日本製紙石巻硬式野球部がキャンプのため、徳之島町に訪れました。スタッフを含めた16名が、町総合運動公園野球競技場でノック、バッティング、ピッチング、ウエイトトレーニングに汗を流しました。

3月5日まで町内で練習後、天城町で合宿する野手陣と合流し全体練習を行いました。

今回の同野球部の春キャンプへ町柑橘生産組合からタンカン25キログラム、西川グループよりミネラルウォーター、町地域営業課よりシークニンジュースが差し入れされました。

島の未来を切り拓く

「みらい創りラボ井之川」体験会



旧井之川へき地保育所に4月オープンを予定している「みらい創りラボ井之川」において、2月26日「みらい創りラボ井之川」体験会が行われ、井之川集落住民や、中学生・高校生など約60名が参加しました。

ライトマイルズ社代表取締役である豊耕一郎氏による講演が行われました。「みらい創り対話会」では、グループに分かれて「私たちが大切になりたい島の魅力」を話し合い、参加者からは「この場から挑戦が生まれるワクワク感でいっぱい」「若い方々への起業への期待とともに、自らも改めてチャレンジしたい」等の意見が挙がりました。



心強いサポート

名城忍氏から町立図書館へ寄付



名城忍氏から町立図書館へ10万円の寄付があり、2月28日に同図書館で岩下洋一館長へ寄附金が手渡されました。名城氏からの寄付は、平成25年から二回目で、主に児童書の購入に充てられています。

名城氏は、「大げさなものではない。これからも図書館のイベントや地域との交流など、なんでも協力していきたい」と話しました。岩下館長は町立図書館へのサポートに深く感謝し、「島の子どもたちの学力向上のためにも将来の為に大切なもの。子どもの読書に力を入れ、児童の本の比率を増やしていきたい」と話しました。

男女共同参画社会の実現に向けて

地域推進員への委嘱状伝達式



3月2日に町長室で、鹿児島県男女共同参画地域推進員の委嘱を受けた成岡ひとみ氏への委嘱状伝達式が行われました。今後、推進員には、県や町が行う男女共同参画施策への協力など、地域における男女共同参画の推進役としてさまざまな活動を行っていただきます。

委嘱を受けて成岡氏は「昔は女性のくせにと言われたが、今は女性が活動する場が多くなってきた。女性が輝かなければ」と話し、高岡町長は「推進員の委嘱を受けた方が町にいるのは嬉しいこと。町としても、各分野で女性が参画しやすい環境をつくりたい」と期待を述べました。

全国に誇れるタンカンを！

徳富フミエさん金賞に輝く



2月9日に開催された「平成28年度奄美群島タンカン品評会」で徳富フミエさんが金賞を受賞。役場町長室で3月2日に、表彰状の伝達が行われ、高岡秀規町長から徳富さんへ賞状と副賞が手渡されました。

同品評会にはLと2Lの2階級へ郡内から76点が出品され、全体的に品質の高い中、見事に徳富さんのタンカンが最優秀賞に輝きました。

タンカン栽培で心がけていることは、できるだけ化学農薬は使わず、自分で試行錯誤している酵素の成分などで対処すること。また、日々畑に通って木の様子を観察し、害虫や病気などに素早く対応しています。

大きく大きく育ったね

亀徳保育園で食育事業



3月4日、亀徳保育園の4、5歳児の親子27組がじゃがいもの収穫体験を行いました。

この体験は町の食育事業の一環として行われ、11月に植えた種いもから大きく育ったじゃがいもを親子で収穫しました。「お店で見えるものよりずっと大きい」と驚く参加者のほほえましい様子を見て、徳之島町農業青年クラブ員は「農作業の励みになる」とうれしそうに話していました。

植え付けから収穫までの農作業体験を楽しむことで、親子で「食と農業の大切さ」について感じるきっかけになりました。



島の魅力を発信

世界自然遺産に関する講演会



若い力を発揮して

自衛隊入隊者壮行激励会



真実を言う勇氣

劇団四季公演観賞



鹿児島ユナイテッドFC開幕戦でPR!

「春一番」を使ったカレー・ポテト販売



3月4日に徳之島町生涯学習センター12階ホールで、平成30年に登録が見込まれる「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」世界自然遺産に関する講演会・児童らによるエコツアーの事例発表がありました。

東京大学助教の田中俊徳氏が「世界自然遺産登録は何をもたらすのか?」予測される変化と私たちに出来ること」と題して基調講演を行いました。屋久島や小笠原などの世界自然遺産の先進地での事例を基に、観光客の増減の動向や地域経済に与える効果等について説明されました。

※この事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施されました。

「平成28年度徳之島町自衛隊入隊者壮行激励会」が、3月6日に役場4階会議室で開かれました。町内関係者や島外からの来賓が祝いの言葉などを贈り、この春高校を卒業し自衛隊へ入隊する2名を激励しました。

自衛隊鹿児島地方協力本部長の敷嶋章1等海佐が「仲間との絆を大切に。所信を忘れず、若い力を発揮してほしい」と激励しました。徳之島町からは今年度、陸上自衛隊一般曹候補生の宮一将さん(亀津)、陸上自衛隊自衛官候補生の植木志穂さん(花徳)の2名がそれぞれの駐屯地へ教育入隊します。

町文化会館で3月6日、町内小学校児童が劇団四季公演の舞台観賞をしました。芸術鑑賞と共に「本当のことを言う勇氣」を学びました。

今年は「王子とこじき」という劇が上映されました。そっくりな王子とこじきが洋服の交換をしたために入れ替わってしまい、立場を誤解されながらも苦難に立ち向かう話。

会場の児童たちは、本格的な舞台装置や衣装、照明や音響に魅了された様子で目を輝かせていました。舞台の語りかける「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」に感動の輪が広がりました。

3月11日に鹿児島県立鴨池陸上競技場で、明治安田生命J3リーグ開幕戦となる鹿児島ユナイテッドFC vs 藤枝MYFCの試合が行われ、会場では「みのり館角煮カレー」とポテトが販売されました。

現在、町では鹿児島ユナイテッドFCの公式グッズをふるさと納税の返礼品に加えており、DAZNニューイヤーマップ・カップに続き二回目のPR活動を行いました。全国から集まったサポーターにカレーとポテトを販売し、チームと町への応援を呼びかけました。試合結果は5対0と鹿児島ユナイテッドが快勝。開幕戦好調のスタートとなりました。

健康トピックス

平成 29 年度

**特定健診・各種検診の申し込み
受付を開始します！**

今年度の特定健診・各種検診の日程は左記の予定です。

健診（検診）と対象年齢	日程
特定健診（国保40～74歳）・ 長寿健診 （75歳以上） ・胃がん検診・胃がんリスク検査・大腸がん検診・腹部超音波検診・骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検査・前立腺がん検診（40歳以上）	7月26日～31日 8月8日～11日
肺がん検診（40歳以上）	9月22日 9月25日～27日
乳がん・子宮頸がん検診 （乳がん40歳以上・子宮頸がん20歳以上）	6月28日～29日 7月6日～9日
結核検診（65歳以上）	9月28日～29日 10月10日～13日

【申し込み・お問い合わせ】保健センター 83-3121

＊人間ドックや通院中などで今年度は受けないという方もご連絡下さい。

＊今年度40・50・60歳になられる方へ受診意向調査票を送付しています。まだお手元に調査票をお持ちの方は速やかにご返送下さい。

ゴールデン ウーキング のご案内！

連休のスタートに
ウォーキングを
楽しみませんか？

●日時：4月29日（土）
（受付13時15分～）

●場所：徳之島町総合運動公園 陸上競技場
管理棟前

●コース：3km・5km

＊飲み物やタオルをご持参下さい。



4月の歯科相談日・母子手帳交付日

4月20日（木）；保健センターにて

母子手帳交付受付時間；13：30～

歯科相談受付時間；14：00～14：30

歯科相談対象；妊婦さん・幼児・一般の方、
3か月以上歯科健診・フッ化物
塗布を受けていないお子さん

お待ちして
います！！



●〇マタニティクラスのご案内〇●

- ・妊娠中の心と身体の付き合い方
妊娠の経過と過ごし方
- ・赤ちゃんの栄養と食事
妊娠中・産後、赤ちゃんを育てる食について
- ・沐浴体験

日時：4月17日（月）

10：00～12：00

場所：徳之島町保健センター

＊ご参加の場合はご予約よろしくお願いします。

徳之島町保健センター TEL：83-3121





大勢が楽しんで参加する
東区の地域サロン

東区集落は、亀徳新港から大瀬川までの海岸線沿いに位置し、多くの所有面積が昭和48年竣工の北区埋立工事により造成され、平成7年に東区への分区した町内で一番新しい地区。通称「16m道路」と「亀津大船築地線」を中心に整った町並みが印象的です。

埋立による亀津地区の拡大で、起業や事業拡大の機会が生まれました。東区の分譲地には次々に会社や商店、公共施設や病院が建設され、商業を中心に加え、島の近代成長への象徴となる地域です。

集落では年間通じて様々な取組をしていますが、その中でも高齢者の健康を維持するための地域サロン「健康体操教室」や「きらきら教室」の活動が活発に行われています。何歳になっても暮らし慣れた東区で過ごしていけるように、体操やカラオケを行い高齢者の心身の健康づくりに努めています。また、季節行事や防災訓練、立哨運動や花園作り活動を通して子どもや地域との交流を行っています。東区集落は、子どもから高齢者まで安心して楽しく暮らしていけるように、地区を上げて取り組んでいる元気な集落です。



毎年恒例の地域サロンによる花見ツアー



地区でのふれあい餅つき大会



徳之島高校への自主防災訓練

Fail. 11
東区集落

元
気
な
集
落

き
ま
い
た
り
ち
ゅ



■人口…1416人
■世帯数…655戸

東区集落は徳之島の中心地亀津に所在し、商業の中心地です。

index

- 02 平成29年度 施政方針
- 14 町からのお知らせ
- 18 町の話
- 22 健康トピックス
- 23 元気な集落（東区）／題字紹介／目次
- 24 戸籍の窓／まちのきまいたりちゅ

表紙写真



3月14日、町内中学校及び小中併設校で卒業式が行われました。東天城中学校では、卒業生21名が心をついにレミオロメンの「3月9日」を合唱。仲間との最後の合唱に、時折笑顔がこぼれました。

今月のとくのしま



田之畑 奈保子さん

(井之川中学校2年生)

6年生の時に転入して、徳之島での書道に親しんできた奈保子さん。書道は、書いていると落ち着いて、きれいに書けたらとてもうれしい、自分の大好きな趣味の一つ。もっと上達したいと思えるところがとても楽しいそうです。

「島の書道会の方々が、これからもこの環境をずっと支え続けてほしい。書道を習っている子どもたちは、習字の良さを次の世代に伝えてほしい」と話しました。

わっきゃまちの きまいたりっちゅ

じゃがいも畑で元気に精出す 6 名の方々
(宮田幸子さん、奥山和枝さん、豊米子さん、
信節子さん、義間和子さん、崎島タミ子さん)

全員が 70 歳以上で 2 反 5 畝の畑で毎年じゃがいも作りをしているそうです。

ごろごろとしたりっばに育ったじゃがいもをひろいながら「楽しみながらじゃがいもを作ってるよ～。認知症予防にもなるしね」と素敵な笑顔。

休憩時には手作りのちゃんしゅき（おやつ）でお茶を飲み、徳之島の自然のおいしい空気をいっぱい吸って、暖かな太陽の光を浴びながら働けることに感謝しているとのことでした。



犬の放し飼いは 絶対にしないでください!

最近、町内で放し飼いされた犬や野良犬が増えています。中には数頭で群れを作り、通学路やウォーキング路に現れるケースも目立ち、怖がられています。また、鶏、アヒル、ヤギが襲われる被害も出ています。

徳之島町では、町民からの要望を受けて徳之島保健所と野犬の捕獲を行っています。それでも野犬は増える傾向にあります。放し飼いされた犬による自然繁殖が最大の原因です。捕獲された犬は保健所で預かりますが、引き取り先がない場合はやむを得ず殺処分する場合もあります。もし飼い犬がいなくなった時はすぐ保健所へ確認をお願いします。

なお、犬を散歩に連れていく際にはフンの後始末を必ず行ってください。住民からの苦情が度々寄せられています。町の条例でもふんの放置は禁止していますので、必ず持ち帰るようにしてください。



徳之島保健所 ☎82-0149

町住民生活課 ☎82-1111（内線 121）

徳之島町の現勢

面積	104.92 km ²
人口	10,889 人
男	5,345 人
女	5,544 人
世帯数	4,867 戸
平成 29 年 3 月 1 日現在	

梅岡 出生児 梅岡 大陽 (啓 大香) 保護者 住 所 津 所

◆ご結婚おめでとう
三原 伴育 亀 亀 徳 徳
順 和美 亀 徳

◆ご誕生おめでとう
梅岡 大陽 (啓 大香) 保護者 住 所 津 所

戸籍の窓

◆謹んでご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年齢	住所
久林とよ子	81	井之川
福田ナツエ	96	金見
伊千枝子	78	亀津
福山トシ	100	亀津
勇利二	90	亀徳
廣崎初男	90	母間
盛井信子	86	神之嶺
峯塚照仁	85	母間
定久千枝子	86	轟木
太みち子	57	花徳
上田ウト	105	下久志

※2月届出分のうち、広報誌に掲載の方のみ掲載しています。

平成 29 年度 合同金婚式の対象者調べ

昭和 42 年にご結婚されたご夫婦を対象に平成 29 年度合同金婚式を開催予定です。対象になっている方は、合同金婚式への参加の有無に関わらず、平成 29 年 4 月 28 日（金）までに介護福祉課または区長か地区高齢者クラブ会長へご連絡ください。

【開催期日】

平成 29 年 5 月 25 日（木）

【対象者】

昭和 42 年に結婚したご夫婦

町介護福祉課

☎82-1111（内線 131）